

センター長ごあいさつ

情報メディア教育研究センターは、広島大学の先進的な教育研究を支える、安定したICT基盤の提供と、構成員に対する情報・データサイエンス教育、セキュリティ教育などの教育・啓蒙活動を重要なミッションとして活動しています。急速な社会構造の変化に順応していくためには、デジタル技術の積極的な活用が必要不可欠です。本学の情報環境の更なる高度化を目指し、高い専門性を持つ教職員などが一丸となり努力してまいります。皆様のご協力ならびにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

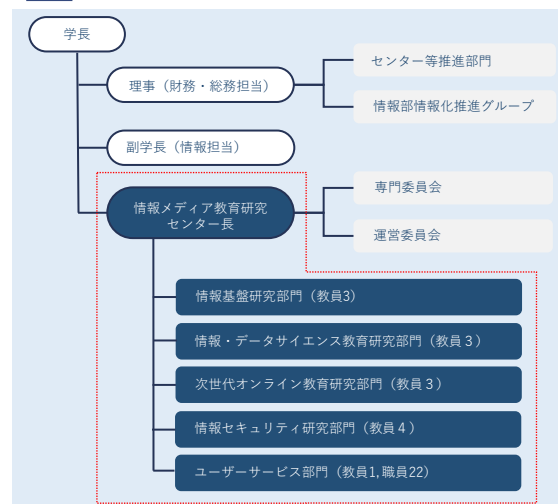
情報メディア教育研究センター長
近堂 徹

センター概要

情報メディア教育研究センターは、全学の共同利用施設として本学の情報基盤を支えること、情報メディアを活用した教育の企画・立案・実施の支援や業務の支援、情報技術を安全に活用するための研究開発を推進することを目的として設置されています。キャンパスネットワークの企画・設計・導入、計算機サービスや教育用端末などの企画・更新、学習支援システムの運用等を担当し、一括して管理運用を行っています。また、構成員に対する情報・データサイエンス教育、情報セキュリティ教育や情報セキュリティ対策に関する啓蒙活動などを通じて、本学の情報リテラシーの向上に寄与します。情報化により急速に変化する社会に対応・貢献するため、「情報」と「メディア」の利活用に関する研究を推進して、広島大学の教育・研究環境を充実していきます。

組織図

(2025年4月1日現在)



アクセスマップ・所在地

アクセスマップ（東広島地区）



本館
〒739-8511 広島県東広島市鏡山1-4-2
TEL 082-424-6252, FAX 082-422-7043

東分室
〒739-8512 広島県東広島市鏡山1-4-5
東図書館2階
TEL 082-424-6325

アクセスマップ（霞地区）



霞分室
〒734-8551 広島県広島市南区霞1-2-3
医学部基礎講義棟1階
TEL 082-257-1580

広島大学
情報メディア教育研究センター

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp>



広島大学

情報メディア教育研究センター

Information Media Center
Hiroshima University



広島大学

2025年4月版

主要サービス紹介



詳細はウェブサイトへ

<https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/services>

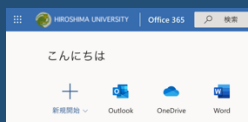
全学共通基盤サービス

キャンパスネットワーク HINET



情報メディア教育研究センターによる全学一元管理により、部局や研究室ごとに個別のファイアウォール機能を提供し、安全で自由度の高いネットワークを組むことができる全学共通情報基盤です。遠隔地にある3つのキャンパス（東広島、霞、東千田）および附属学校や東京オフィスなど広島大学のどこでも同じように利用できます。

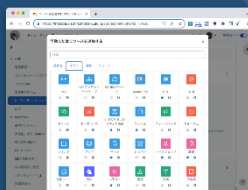
広大メール（全学電子メールサービス）



マイクロソフト社のクラウドサービス Microsoft 365 を広島大学の認証基盤と連携させることにより、広島大学の全構成員（教職員・学生など）を対象にした電子メールサービス（広大メール）や、クラウドストレージでのファイルの保管（OneDrive for Business）、メッセージングやビデオ会議（Teams）などのサービスを提供しています。

教育・研究支援サービス

オンライン学習支援システム（広大moodle）



授業のウェブページ構築を支援するため、コース管理システム「広大moodle」を導入し、全学にサービス提供しています。広大moodleは、資料配布やオンラインテスト、課題管理、グループ学習補助など、授業を数多くの側面から支援する機能を備えており、授業だけではなく各種講習会・研修会のサポートや、学内向けのeラーニング教材の提供など、学内でさまざまな活用されています。

また、教職員を対象に、教材作成を行う際に必要な著作権処理支援や動画作成支援もサービスとして提供しています。

HPCクラウド・アプリケーションサービス



九州大学情報基盤研究開発センター「スーパーコンピュータシステム玄界」の包括契約を結び、学内構成員に対して研究教育用計算機システムを提供しています。一部のソフトウェアで、学内の教職員が個別に購入や手元のパソコンにインストールしなくても利用できるように、アプリケーションのウェブアクセスによるリモート利用環境も提供しています。

HINET Wi-Fi（情報コンセント）

講義室、会議室、図書館、福祉施設など学内の共用スペースを中心にアクセスポイントの整備運用を行っています。2017年4月からはすべての講義室で利用可能になりました。広島大学全構成員の無線LAN利用環境を提供するほか、eduroamによるWi-Fiアクセスを提供しています。



ISMS/ISMS-CLS認証取得

2015年3月に情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の認証を取得しました。2017年3月には、国内の学術機関では初となるISO/IEC 27017:2015に基づくISMSクラウドセキュリティ（ISMS-CLS）認証を取得しました。2024年3月には新しい国際規格ISO/IEC 27001:2022への対応を完了し、現在に至っています。全学の情報基盤を支えるセンターとして、利用者/認証情報の適切な管理・運用を通して情報サービスの可用性を高めるとともに、セキュリティレベルの維持・向上に努めています。



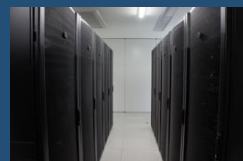
教育用情報端末・オープンスペース

授業や自学自習に利用できる教育用情報端末です。起動時に、WindowsがLinuxいずれかの利用するOSを指定することができます。オンデマンドプリントシステム（カラー、モノクロ）を導入しており、教育用情報端末や持ち込みパソコンから印刷を行うと、学内各所に設置されているオンデマンドプリンタで受け取ることができます。

また、自主学習やグループ学習の場として活用できるオープンスペースも整備しています。

ホスティングサービス

学内の組織単位でホームページを運用するための機能として、Webサーバ、DBサーバ、DNSサーバ、SSHサーバ、メール（転送）の機能が利用できます。主にCMS（コンテンツマネジメントシステム）を用いた部局・研究室ホームページの運用に使われており、教育研究活動の外部発信に活用されています。

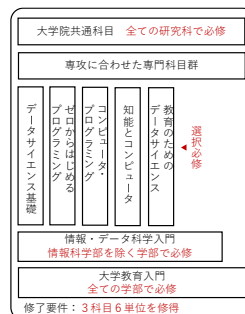


メディアセンターでの取り組み

情報・データサイエンス・セキュリティ教育

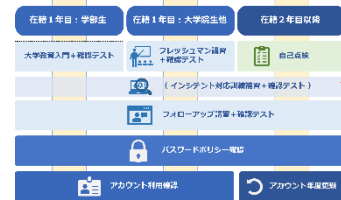
一般情報教育・特定プログラム

1997年から教養教育として一般情報教育を実施しています。企画、運営している「情報・データ科学入門」では、eラーニングと協調学習による先進的教授法を導入し、情報学分野の参照基準に基づいた情報教育を実施しています。本科目をコアとする「情報・データサイエンス・AIパッケージ」は、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度リテラシーレベルプラス」に認定されています。2020年度から情報科学部と合同で高度なICTスキルを学ぶ「基本情報処理特定プログラム」を開設しています。



情報セキュリティ・コンプライアンス教育

2011年度より全構成員を対象に「情報セキュリティ・コンプライアンス教育」を行っています。在籍1年目の構成員は、「大学教育入門」または「フレッシュマン講習」により基礎を学んだ後、「フォローアップ講習」で知識を更新します。在籍2年目以降の構成員は、「自己点検テスト」で過去1年の行動の振り返りから始めます。2024年度からは「インシデント対応訓練」が加わり、知識と実践の両面から底上げを図っています。



情報化支援

広島大学クラウドサービス利用ガイドライン

部局等が法人文書の保存場所としてクラウドサービスを利用する際に、その重要性に基づいて本学の情報セキュリティポリシーとの整合性を容易に確認可能な補助資料として「クラウドサービス利用ガイドライン・チェックリスト」策定し、大学のクラウド化の推進を支えています。

ノートパソコン必携化

広島大学では2015年度よりノートパソコン必携化を行っています。必携化に伴い、すべての講義室で利用可能な無線LAN環境を拡大し、授業等での活用を支えています。設備面だけでなく、入学時の初期実習のコンテンツ作成・実施やより高度な活用のための講習会を担当し、全学生に対して入学直後から活用するための諸活動を行っています。

セキュリティ維持・CSIRT活動

全学的な情報セキュリティの維持及び向上に関する組織として、情報セキュリティ推進機構（CSIRT）を設置しています。コンピュータセキュリティにかかるインシデント対応チームとしての活動のみならず、構成員を対象としたセキュリティ講習会やセキュリティ訓練の企画・実施も行っています。